

立憲民主党

The Constitutional
Democratic Party of Japan



渡
辺
のりよし

世代交代!

変えるぞ38歳



証紙

国民の命と暮らしを守る

～コロナ対策は補償とセットで～

- ★官邸に強力な司令塔を設置し、対策を抜本転換
- ★低所得世帯や大幅に減収した世帯に1人10万円給付
- ★持続化給付金の要件緩和



「みんなで支えあう」社会

～生きる上で不可欠な
ベーシック・サービスの充実～

- ★医療、介護・福祉、子育て、教育に予算を重点配分し、まずは公助によるサービスとマンパワーの充実
- ★農業者戸別所得補償制度の復活で、食糧自給率を向上
- ★カーボンゼロ社会の実現に向け、グリーン革命で新たな雇用と産業を創出

台風19号の災害復旧では▶
連日ボランティアに参加



▲▼コロナ禍の中、皆さんから500件超の相談を受け対応。駅頭や交差点でのご挨拶も3年半で1,000回を超えた



みんなを安心・幸せにする経済

～所得再分配と格差是正で内需型成長～

- ★時限的に消費税を5%に引き下げ
- ★年収1千万円程度以下の所得税を原則1年間免除
- ★富裕層や大企業への優遇税制の是正～法人税の累進税率導入、所得税の最高税率引き上げ、金融所得課税の強化



▲働くことを軸とする安心社会へ。
連合栃木の皆さんと

若者の未来をつくる

- ★国公立大学の授業料を半額に引き下げ、給付型奨学金の大幅拡充
- ★ひとり暮らしの学生への家賃補助制度の創設
- ★原則、希望すれば正規雇用で働ける社会の実現

プロフィール

- ★1983年、宇都宮市生まれ(38歳)。陽南中、宇都宮高校、早稲田大学政治経済学部卒業。
- ★在ジョージア、在タジキスタンの日本大使館で草の根の国際貢献、東日本大震災の被災地で復興支援に従事、「外から」被災地から見た日本の政治の現状を変えたいと松下政経塾へ。
- ★第48回衆議院総選挙出馬を経て、現在、立憲民主党栃木県第1区総支部長。
- ★趣味～旅行(世界約40か所訪問)、登山、マラソン、ラーメン食べ歩き。



過去の経験・実績は通用しない混迷・危機の時代。 だからこそ、若い力で未来へつなぐ選択を

コロナ禍の危機は、自公政権では国民の命や暮らしを守れないことを浮き彫りにしました。この間の安倍・菅政権が進めた「説明しない・説得しない・責任を取らない」政治、行き過ぎた公共の縮小、格差拡大・自己責任を増長させたアベノミクスの弊害そのものです。表紙を変えても、自公政権の本質は変わりません。

私「渡辺のりよし」は4年間、誰よりも多く1区内を回り、皆さんの暮らしの困り事や相談に対応し、政治に切望する声を聞いてきました。いわゆる「地盤」「カバン」「看板」のない私にとって、地域の皆さんの声最大の力、財産です。こうした国民の声が国政に届かない、若い世代が将来不安を抱え、希望が持てない今の政治を一日も早く刷新したい!

混迷・危機の時代、今までの経験や実績は通用しません。歴史を振り返れば、時代の転換期を変えてきたのは、常識にとらわれず、新しい発想と行動力で挑戦した若い力です。栃木1区の世代交代で、政治を変えましょう!